

所、恵み野  
変道段差・  
ン敷設▽一  
調整交付金  
所、測量設  
之路線2 1

哈老朽化対  
舗装の単  
于人札シス  
ヨ於、本  
シヨルダ  
ハ(滑走路  
十一月31日

細取付誘導  
①一般  
米端取付  
三灯火(誘  
走路改良長  
門打換え)  
船設)④20

以貯泊地浸  
ゆんせつ  
にまで電子  
(クラブ浸  
士運船運搬  
小探査④12

製作工事  
二般土木  
電子入札  
ソソ製作  
30日まで

など

座長

座長

# 日本一に富樫さん、田淵さん、秋山さん(早大)

せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦

国内最大規模の卒業設計コンクール「せんだいデザインリーグ2019卒業設計日本一決定戦」の公開審査が3日、仙台市内のせんだいメディアテークで開かれ、早稲田大学の富樫遼太さん、田淵ひとみさん、秋山幸穂さんが制作した『大地の萌芽更新―「土地あまり時代」におけるブラウンフィールドのRenovation計画―』が日本一に選ばれた。

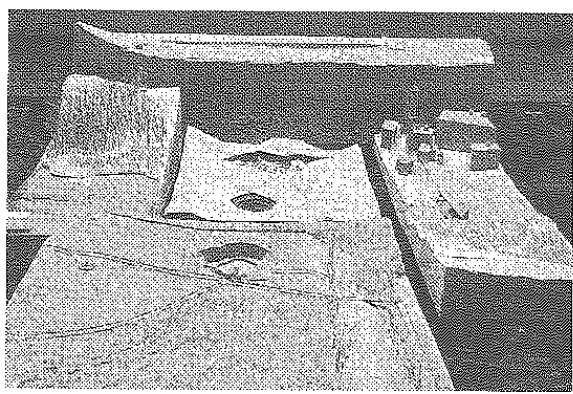
全国で建築を学んだ学生の卒業設計作品を一堂に集め、公開審査で日本一を決めるこのイベントは、仙台建築都市学生会議が主催。17回目となった今回は、333作品の参加があった。

審査は平田晃久氏(京大教授)を委員長とする7人の審査員が担当した。

予選審査で全出展作品から100作品を選出した上で、ファイナルに進む10作品を絞り込んだ。

公開審査では、制作者によるプレゼンテーションと審査員とのディスカッションにより上位3作品と特別賞2作品を決めた。

日本一に選ばれた作品の舞台は、秋田県花岡町の旧花岡鉦山周辺一体。銅を採掘していた同鉦山は、現在廃棄物処理場や最終処分場などとして活用され、土壌が汚染されているとし、植物を生かして土壌を浄化するファイ



「大地の萌芽更新」の模型

ト Remediation 実験場や有害物質を吸収した稲の焼却を行う橋型焼却炉などの整備を提案した。

日本二と同三、特別賞は次のとおり(敬称略)。

〈日本二〉渋谷受肉計画―商業廃棄物を用いた無用地の再資源化―十文字萌(明治大学)。

〈日本三〉輪中建築―輪中地帯の排水機場コンバージョンによる水との暮らしの提案―中家優(愛知工業大学)。

〈特別賞〉都市的故郷―公と私の狭間に住まう―長谷川峻(京都大学)▷海女島―荒布栽培から始まるこれからの海女文化―坂井健太郎(島根大学)。

## 2019年3月5日 建設通信新聞

2019年3月5日建設通信新聞